

協働のまちづくりに向けた「未来づくり懇談会」議事録（主旨要約）

| | |
|------|----------------------|
| □日 時 | 5月28日（火）午後7時～午後8時50分 |
| □会 場 | 植公民館 |
| □参加者 | 町側11人、地区側25人 |

1. あいさつ（町長）

同趣旨のため省略（英比小学校体育館参照）

2. 「住民税1%町民予算枠」制度 について説明（政策協働課長）

わくわくアイデア事業について・わくわくコラボ事業について
制度の概要説明及び募集要項に沿った各事業の説明及び町制60
周年記念事業を説明。

3. 地区からの提言・質問事項についての主旨要約

質問① 循環バスの運行について、行政サービスの提供は、受益者負担が原則のため循環バスは有料にすべきです。（高岡）

答） 試行運行は、主に次の3つの理由により、無料で行うこととしました。

1. 試行運行期間中に一人でも多くの人に気軽に循環バスを利用していただき、バスをはじめとする公共交通機関に関心を持っていただくため。
2. 有償運行では、地域公共交通会議（法定設置）で調整、合意が得られなければ、試行運行期間中といえども、ルートやダイヤ、バス停位置の見直しを行うことができないことから、試行運行の目的の一つである毎年ダイヤの見直しを行うことがスケジュール的に困難なため。

3. 有償運行を行う場合、交通バリアフリー法に適合した車両を使用する必要があり、車いすを乗せられる車両による運行を行う必要があるため。

特に3つ目の理由については、定員数を確保するためには、現在運行しているワゴン車に比べ、より大型の車両を導入する必要があります。車両を大型化すると、現在乗り入れをしている医療機関や店舗、一部の道路の狭い地域には乗り入れができず県道しか走行できなくなる可能性があります。

いま説明しましたように、循環バスを有料にすることにより、多くの方が使用することが困難になりますので、今の無料運行を続けてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。（総務部長）

質問② 野犬対策の継続を要望します。（植）

答） 野犬の捕獲方法は、色々考えられますが、動物愛護の観点から檻を設置して捕

獲する方法しか認められていません。

このため、愛知県動物保護管理センター知多支所と協力し、町内5ヶ所に檻を設置し捕獲しております。

平成24年度の実績は、萩地区で1頭、宮津地区で1頭、福住地区で1頭、白沢地区で1頭、阿久比地区で1頭、矢高地区で26頭、植大地区で1頭の合計31頭の野犬を捕獲しました。

特に、毎週1回は、設置した檻を動物保護管理センターが巡回し、町も随時巡回していますので、ご理解願います。(建設経済部長)

関連質問) 最近は、民家の近くで見かけます。対策をお願いします。(植)

答) 発見されたら、その情報を役場の方へ、ご連絡ください。(建設経済部長)

矢口の ゴミ堆肥処理施設の付近にやはり野犬が寄ってきますが、その辺を中心に環境パトロールを行い、実際に何頭か捕獲していますので、とにかく発見しましたら役場にご連絡ください。対処させていただきます。(町長)

関連質問) 矢口地区で26頭だと多いと思いますが、何か特殊な状況がありますか。今後矢口の捕獲方法を教えてください。(植)

答) やはり矢口の ゴミ堆肥処理施設の付近で野犬が多いので、その壁と地面をふさいだり、水路に網を設置し進入できないように対処していただきました。その時に檻を数個仕掛け、集中的に設置し、鶴弥さんの北の丘と竹やぶに犬の巣がありましたので、そこへ環境Gメンが捕獲に行き、26頭捕獲できました。とにかく発見しましたら役場に情報提供をお願いします。担当課で対処させていただきます。(建設経済部長)

要望) 散歩していると威嚇する犬もいます。そのうちに民家の近くのゴミステーションにも来るかもしれません。心配ですので、よろしく願います。(植)

答) 今の情報を参考にし、檻の位置などを変えたり、職員に対処させます。(建設経済部長)

質問③ ごんげん山整備終了後の町行政としてどのような位置付けを考えていますか。(植)

答) 阿久比町としては、今回の整備事業の成果を活かして、観光資源としての活用を図りたいと考えています。キャンペーンについては、9月下旬から10月上旬のヒガンバナの咲く時期に、半田市のイベント開催に合わせて、あぐいふるさとガイドによるボランティアガイド事業も計画されていますので、町制60周年記念事

業として、のぼり旗やチラシ作成によるPRを計画しています。

また、今年度、住民税1%町民予算枠事業として「ごんげん山保存会」として継続をお願いします。(建設経済部長)

質問④ 半田池の所有者が民間企業に代わると聞いていますが、阿久比町としての対応を伺います。(植)

答) 半田池に関係する市町である半田市・常滑市・阿久比町の2市1町とオブザーバーとして知多建設事務所・知多県民センター・知多農林水産事務所の県3機関で「半田池に関する打合せ会」を平成25年4月25日・5月24日・5月27日の合計3回本町主導で開催しました。

この打合せ会は、当初は「半田池の現状把握と保全に対する考え方」を2市1町で話し合い、共通の認識の元、1つの意見にまとめ半田池を保存することを話し合う「半田池保全管理協議会」と位置づけ始めようとしたが、要綱で会議の目的を明確にした「協議会」と言う位置付けでは、半田市と愛知県の協力を頂けないということから「半田池に関する打合せ会」として始めたものです。

今後は、半田池が防災溜池の機能を持つ様な保全景観計画を本町が示し、2市と協議していく予定であります。

なお、5月22日には、地権者と直接この池の具体的な計画を聞く機会がありました。

その時の地権者の話しでは「所有権はあるが、2市1町の意向を無視して、半田池の利用方法を考えることが出来ないと思っている。」「2市1町から積極的に利用方法を提案して欲しい。」といった事を言っていました。

今後も地権者と話し合いの機会を設け、池の利用方法を協議してまいりたいと考えています。

ご質問の「今後の水位調整」については、現在半田市が行っています。

今後は、2市1町の枠で考えていきたいと思えます。(総務部長)

質問⑤ 植大地区東部の浸水対策について伺います。(植)

答) 水路の排水のネックとなっているのは、名鉄下の水路が、断面不足であると考えます。これが原因となり、雨量が多くなると排水が出来ない状態となり、結果、田んぼ等に浸水がおこります。

町としては、名鉄下の水路の断面が不足する手前から名鉄線路の西の法下にある農道4012号線に水路を布設し、排水を南へ流しこのバイパス水路を利用して排水量を増すことも対策の一つと考えています。(建設経済部長)

質問⑥ 榊原農材店前の県道交差点に押しボタン式信号機の設置要望。(植)

答) 当交差点では、半田警察署、知多建設事務所、役場担当者の合同で、現地調査

もすでに実施しておりますが、警察からは「植大駅西の信号交差点と野崎の信号交差点からの距離が近い」「当該県道にこれ以上信号機を増やすことは交通渋滞がひどくなるため積極的には進められない」などの理由により信号機の設置は、非常に難しいといわれています。(総務部長)

関連質問) まったく計画はないということですか。(植)

答) 町でなく警察の方が難しいとの返事です。(総務部長)

要望) 車の台数等考えますと危険と考えますので、何とかお願いしたいです。(植)

答) 信号機の設置は警察の方になりますので、再度地区のほうから申請していただき警察の方へ熱心に要望していきますので、よろしく申し上げます。(総務部長)

質問⑦ 阿久比のサイクリングロードについて、教えてください。(大古根)

答) 知多半島サイクリングロードは、武豊町と大府市を結ぶ延長 31.1km の半島縦断自転車道で、愛知用水や河川、自動車専用道路沿いを利用し、自転車歩行者専用道路として愛知県が整備しています。

阿久比川沿いのサイクリングロードの整備計画を愛知県知多建設事務所に聞いたところ、阿久比川沿いの延長は、約 4,200mあり、現在、阿久比川右岸で行われている工事については、島田橋から上流約 500mが工事区間ということです。

また、現在、名古屋半田線宮津橋付近までの概略設計ができています。この宮津橋付近までの工事の完成年度については、概ね 5 年程度で完成する予定です。さらに、阿久比町内の宮津橋より上流部分としての全体事業計画としては、完了の年次は未定という回答を頂いています。(建設経済部長)

質問⑧ 植大駅前の駐輪場整備拡大について伺います。(大古根)

答) 現在、駅北側駐輪場にはまだ空きスペースがあり、南側に止めてある自転車も収容可能であるため、南側に駐輪場を整備する予定はありません。今後、北駐輪場が満車状態になり、道路に自転車等がはみ出し、歩行者、車両等の通行に支障をきたすようであれば、駐輪場の拡張について土地所有者である名鉄株と協議してまいりますのでよろしくお願いいたします。(総務部長)

質問⑨ 名鉄の連続立体化の可能性について伺います。(大古根)

答) 名鉄阿久比駅から住吉町駅区間の鉄道高架事業については、阿久比町地内の主要地方道名古屋半田線の渋滞緩和や半田市内の県道碧南半田常滑線の渋滞緩和になると考えます。

現在、名鉄河和線では、青山駅前後の高架事業を施工中です。国道 247 号線の渋滞緩和として知多半田駅、住吉町駅の高架事業があるように聞いています。

これに関連して、阿久比駅までの連続した鉄道高架事業となれば主要道路の渋滞緩和が期待できると思います。

いずれにしても長い年月が必要となりますが、鉄道高架事業の可能性が無い訳ではないと考えます。(建設経済部長)

質問⑩ 大古根地区よりの申請事案について伺います。(大古根)

(1) 町道 5033 号線 (アピタ南) 道路改良蓋付側溝工事

答) 側溝新設や修繕等の道路維持工事は、地区要望が多く、交通量等の優先度の高い箇所から実施していますのでよろしく申し上げます。(建設経済部長)

(2) 町道 5046 号線 (大宮前地区) 蓋付側溝工事

答) 擁壁や家屋が接近して道路幅員が確保でないため、側溝の改修は、困難と考えます。(建設経済部長)

(3) 幹線水路 (柿崎地区) の水路壁改修工事

答) 個人の家基礎があり、すぐに対応するのはむずかしい。(建設経済部長)

(4) 前田川右岸リビオ植大住宅右岸堤防の舗装

答) リビオ植大住宅北側の前田川右岸堤は、愛知県管理であり年 1 回草刈を実施しています。交差点付近に車の出入りが予想されますので、町としては、町道利用を考えていません。草刈については、愛知県知多建設事務所に要望しますので、連絡願います。(建設経済部長)

関連提言) リビオ植大の開発時に開発区域内道路のカーブミラーの検討されていないと思いますので、今後住宅建設時にカーブミラーの検討をされた方がいいと思います。(大古根)

(5) 旧マンガ喫茶から町道 5030 号線に通じる道路の舗装

答) 道路幅員の一部が広いだけで利用者が限定的であるため、舗装工事は、困難と考えます。(建設経済部長)

(6) 町道 5306・5030 号線沿い 5ヶ所カーブミラー新設

答) 新設カーブミラー設置申請が多く、大字 1ヶ所をめぐりに設置していきますので

優先度の高い箇所また、実現可能な箇所の選択をお願いします。(建設経済部長)

(7) 町道5048号線森元子様宅前の側溝新設

答) 側溝新設や修繕等の道路維持工事は、地区要望が多く、交通量等の優先度の高い箇所から実施していますのでよろしくお願いします。(建設経済部長)

(8) 町道5040号線榊原岩夫様宅北側の側溝新設及び修理

答) 側溝新設や修繕等の道路維持工事は、地区要望が多く、交通量等の優先度の高い箇所から実施していますのでよろしくお願いします。(建設経済部長)

4. 参加者との懇談

《町政全般に関して意見交換》の主旨要約

質問 高岡老人憩いの家で宅老所を行っていますが、災害危険地区に指定されています。大変危険ですので他で行うとかできないですか。(高岡)

答) 平成23年度に高岡地区から要望書が提出され、協議し、場所をいろいろ検討しましたが、なかなか条件があうところが無く、やっぱり現在の高岡老人憩いの家で行うということになったと私は聞いておりますが、土砂災害の指定区域になっておりますので、災害等の警報が出れば、速やかに連絡し、非難していただくようにしています。(民生部長)

関連質問) 台風とか大雨ですと事前に非難できますが、地震ですとすぐ動けなく、危険性があるのに高岡老人憩いの家で宅老所を行うことはいかがなことかということです。また防災の担当部局としてはどのように考えていますか。(高岡)

答) 土砂災害の指定区域大雨のときに指定されると聞いております。また、地震災害はどこの地区でもおこりうることです。他の木造の民家を借り入れているところもあります。(民生部長)

関連質問) いや町の事業で行っているのに、危険なところでやることがわかりません。(高岡)

答) いつおこる地震で絶対壊れないところで、実施するということですか。(建設経済部長)

関連質問) 裏山ががけになっていて、指定されたということで、他の地区より危険度が高いと思われますので、検討してください。(高岡)

答) 東部が民家で木造、宮津が木造、草木も木造で、高岡が鉄筋コンクリート造りです。耐震が行われたところで、宅老を実施するのは、難しいと思われます。(民生部長)

関連質問) 高岡の老人憩いの家は、避難所ではないです。そこで実施するのは、やはり危険と思われます。(高岡)

答) 土砂災害の危険地域で避難所を解除されましたので、地震でなく風水害の危険ということです。(民生部長)

関連質問) 地震のときは、どうするのですか。(高岡)

答) そのときは、エスペランス丸山に非難してください。(総務部長)

関連質問) 避難所とか、そういうことじゃなくて、危険な地域で、宅老所を実施していることについて伺っているのです。(高岡)

答) 宅老所は、実際耐震化しておりませんが、他を探してもなかなか条件があったところがないというのが現状です。逆にもし、宅老所を必ず耐震化した施設で実施しようと思うと、できなくなってしまうことが心配です。ですから先回、役場の方もいろいろ地元と協議しましたが、現在の場所で行うしかないということになったと思いますので、もう一度、検討させます。(町長)

関連質問) いろいろと他の場所を模索しているとお聞きしましたが。(高岡)

答) 特別警戒区域に指定されたのがネックで、現場の法面は県の方でかなり立派な工事がしてありますので、土砂災害の指定をはずしてもらおうよう依頼しましたが、それは難しいことで、他のところがあれば、そこで実施したいと思います。(町長)

関連質問) 実際どこを検討されましたか。(高岡)

答) 候補に挙がったのは、地蔵寺さんですが、やはり他の地区から来るのは、坂を上がったりと大変ですし、宗教関係もありますので、結局、今のところになってしまったのが、経緯です。また、これから検討をしたいのですので、地元の方からもご提案をお願いします。(町長)

関連質問) 町のほうも何処か検討されましたか。(高岡)

答) 町のほうも担当がいろいろと検討してまいりました。(民生部長)

関連質問) 私どもも、決して追い出すとかそういうつもりは、ありません。こういう状況ですので、やっぱりおかしいですので、なお、町はいっそう奮起して、今年度内に何らかの結論をいただけたらと思います。(高岡)

答) 今年度内に期限を切れということですが、この問題は町だけでということではだめです。やはり地区と町とボランティアそして事業者の4者が、納得出来るようなかたちで、決着をつけないと、難しいと思いますので、そういう場を設けるように担当に指示します。また、情報交換をしまして、どのように進めていったらいいのか検討させます。(町長)

質問) 幼保小中一貫教育のこれまでの成果がよくわかりません。まず何が一貫的に進められたのですか。一貫されたことによりどんな子供たちが育ったのですか。元気にあいさつできる子ですか。礼儀正しくあいさつできる子ですか。交通ルールを守って登下校できる子ですか。これからの一貫教育の目標が見えません。学校の教育現場と共有できる目指す目標は何ですか。町民と共有できる目標はないのですか。阿久比町の幼保小中一貫教育について問います。(高岡)

答) 子どもが生まれた瞬間から、周囲の大人はその子どもの成長に責任を果たしていく必要がありますが、立場や段階でその責任は違います。その時期に身につけるべきことが確実に身につけられるよう子どもにかかわる全ての大人が役割を自覚し、責任を果たすことが重要だと考えます。そこで、子どもに関わる全ての大人が目標を共有することが大切だと考え、阿久比町の目指す生徒像を「自らを律し、自ら実践していく生徒」「生きる力」を身に付けた生徒としました。そして、この生徒像を実現するために、一貫教育プロジェクトでは5つの部会を設定し、具体的な手だてや取組を提言し、実践を継続してきました。

あいさつ運動もその取組のひとつであり、家庭や地域の関係諸機関の方にもご協力をいただき、大変感謝しております。この活動は、子どもたちへあいさつの大切さを、実践をもって体感させることができる大切な活動ですが、同時に、地域の方々が相互につながるための活動でもあり重視しています。その他、ノーテレビデー・ノーゲームデー、ふれあいキャンペーンなど、家庭にご協力をいただかないとできない取組もあります。さらには、どの家庭にも配付済みの「心とからだが輝くための10か条」を実践していただきたいのです。地域の方々が広く強くつながり、これらの取組の重要性を確認し合ってください。どの地域でも当たり前に行われれば「子どもが健康で輝きながら育つ阿久比」が実現できると信じています。

現在、町内すべての幼稚園・保育園・小学校・中学校では、阿久比町の目指す生徒像実現に向けて日々実践を重ねています。阿久比中学校では、いきいきと活動する生徒の姿を多く見ることができます。授業でも部活動でも前向きに取り組む、成果を上げています。あいさつやそれぞれの場面での振る舞いもきちんとこなし、自慢の生徒たちです。時には困難にぶつかり、悩み苦しんでいる生徒もいます。それを乗り越えられるよう、見守りや励ましも行っています。生徒が15歳になり、い

つ社会に出ても困難を乗り越え課題を解決していけるよう、少しのことではへこたれない「たくましさ」を兼ね備えた「自らを律し、自ら実践してく生徒、生きる力を身に付けた生徒」を育てていく必要があると考えています。

来る10月31日には、2013プロジェクトin阿久比 幼保小中一貫教育実践発表会が各園・小中学校で開催されます。ぜひ子どもたちの姿をご覧いただき、一貫教育の成果と課題を肌で感じて、町内の子どもを教育する同じ立場の大人として建設的なご意見、ご指導をお願いいたします。(教育部長)

今年4月から教育長を拝命しました。石井です。幼保小中一環プロジェクトについては、前任の鳥居教育長さんが作られたものを引き継ぎ、自分なりに考えているのは、保育士と小学校の教員が子供の情報を共有し、その情報を中学校の先生に引き継ぎ、子供を温かい目で見守っていくという形をとっていくという気持ちを強く持っています。そこで各幼保小中の情報交換のため会議を行い、たくさんの目で子供たちを育てていくような観点で、教育を進めて行きたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。(教育長)

提言) 幼保小中一貫教育を進めてられるということですが、まず、朝のあいさつをして、阿久比町では、みんなあいさつができる。こんな感じを、もってもらいたい、私は、朝に立っていますが、さびしい状況ですので、その気持ちをもって幼保小中一貫教育を実践してください。(高岡)